

令和6年5月吉日

第4種委員会登録チーム

代表者・チーム連絡責任者 各位

(一社)香川県サッカー協会第4種委員会

委員長 長尾 文博

審判委員長 湯浅 修司

(公印省略)

マルナカカップ第31回香川県少年サッカー選手権 2人制審判実施について

拝啓 時下益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、当委員会の活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今年度も【マルナカカップ第31回香川県少年サッカー選手権】の開催が近づいて参りました。事前に審判講習会を開催のうえ【クーバー・カップ香川県U-11サッカー選手権】で初導入しました「2人制審判」について、本大会でも採用いたします。

担当される貴チーム審判員の方にお伝えいただきご対応ください。また、ご不明点等ございましたら、下記までお問い合わせをお願いいたします。

敬具

記

1. 大会名称 マルナカカップ第31回香川県少年サッカー選手権
2. 審判方法 2人制（主審1名・副審1名）※各チーム1名
3. 審判資格 サッカー審判有資格者（3級以上が望ましいが4級でも可）
4. 詳細 別紙参照

<本件に関するお問合せ> 第4種審判委員会 湯浅 修司

Tel : 080-3169-5990

Mail : hangfive22@gmail.com

以上

【8人制サッカー2人制審判】

- 1)主審(ベンチ側)、副審を決め、概ね下図で示したエリアを移動しながらゲームコントロールを行う。
- 2)主審、副審ともにホイッスルを持ち、ゲームを止め再開させる。
- 3)主審、副審の判定が異なる場合は主審の判定が優先される。ただし主審は、副審のポジショニングなどを考慮し、最終決定する。
- 4)原則、判定は争点に近い審判が行うが、角度等により争点(ボールを奪い合う場所)に近い審判が判定できない場合は、もう1人の審判が離れていても判定を行うことはできる。
- 5)ボールが移動した場所やボールがない場所でのファウルは、その場所に近い審判が判定する。
- 6)キックオフの合図(ホイッスル)は、主審が行う。
- 7)前半、後半、延長戦の前後半の終了の合図(ホイッスル)は、アディショナルを考慮しながら主審が行う。
- 8)オフサイドのシグナルは、右腕を頭上に上げ、その後右腕でポイントを示す。

<ポジショニングの留意点>

- ・図で示した色の範囲を主な移動範囲とするが、ボールがある争点を近くで見えるようにする。
- ・図に示した状況では、主審は争点の監視、ゴールの監視、ゴールラインからのボールアウトの確認を行う。
- ・副審は、争点の確認、タッチラインからのラインアウトの確認、カウンター時などのオフサイドの監視を行う。
- ・主審と副審は常に向かい合うようにポジショニングし、背中を向けることが無いよう争点、ボールの移動に伴いバックステップを使う。
- ・選手及びボールの外側から監視する。
- ・オフサイドラインの位置につきながら争点の監視をする。ボールウォッチャーにならない。

